

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第10回実証試験の開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第10回実証試験では、広島県三次市から提供されたニーズ「橋梁補修の補修条件を踏まえた適切な技術の選択方法」に対して、民間企業（(株)ガイアート）が提供技術の説明を行った後に、現地において試験施工を行いました。
- 実証試験を受け、三次市からは、コストだけではなく、施工性、効果等を踏まえて適切な技術の選択をしていきたい旨のコメントを頂きました。

■日 時：令和6年1月22日（月）14:00～16:00 ■場 所：山崎橋（広島県三次市三和町敷名地先）

■参加者：18名【施設管理者 三次市：3名 / 民間企業（(株)ガイアート）：6名、（ヒートロック工業(株)）：1名 / インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：6名 / 中国地方整備局：2名】その他、施工者（(有)川地クラウド）

○開会挨拶



インフラメンテナンス国民会議
メンバー 宮本 文穂
(山口大学名誉教授)

○ニーズ提供者感想



三次市 建設部 土木課
主事 朝比奈 佑

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
広域計画課長 佐々田 敬久

■技術名「ニンジャシール橋梁伸縮装置補修工法：(株)ガイアート」

○製品・技術の説明、現地での試験施工

<製品、技術の説明>



(株)ガイアート 技術開発部より



使用材料の説明

<現地での施工>



3次止水（メジエイド）の施工



1次止水（ニンジャシール）の施工



2次止水（ニンジャシールNEWソフト）の施工



すべり止め砂の散布

施設管理者が抱える
維持管理の課題収集

↓

ピッチイベント
(課題を解決する技術の提案会)
第9回：R5.6.30

↓

実用化を検証する
実証試験
第10回：R6.1.22

↓

マッチング
(社会実装)



▲質疑応答の様子